

教育セミナー

The 29th Tohoku Occupational Therapy Congress in Yamagata

作業療法士が認知症予防に関連する地域活動に対して応用できること ～地域生活に基づく生活リズムを捉える視点から～

久米 裕

秋田大学大学院医学研究科保健学専攻作業療法学講座 作業療法士



秋田大学では、文部科学省の平成27年度新規重点補助事業である「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の一環として、認知症予防運動プログラム・コグニサイズを活用した健康コミュニティづくりを推進している。演者は、秋田県の自治体（東成瀬村、男鹿市、潟上市）をはじめ、各地域で拠点をもつ地域包括支援センターと協働して認知症予防に関連する地域活動にこれまで取り組んできた。当該活動を通して、同運動プログラムの効果を科学的に検証するだけでなく、「生活リズムを構築する」という作業療法がもつ専門的視点を応用して地域住民に対する教育活動を実践してきた。

本教育セミナーでは、実際に地域で暮らしている事例（認知症、フレイルなど）の活動と休息のリズムに関するデータを示しながら、作業療法が認知症予防の地域事業へどう参画できるかを考える場としたい。

略歴 ● 久米 裕（くめ ゆう）

【職務経歴】

2007年4月～2012年3月 社会医療法人興生会 横手興生病院 作業療法士（精神障害）

2012年4月～現在 秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻作業療法学講座 助教

【資格】

作業療法士，保健学博士（秋田大学大学院，2016年3月修了）

【研究分野】

高齢期における概日リズムに関する研究，認知症予防に関する介入研究

【社会活動】

秋田大学，文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」，認知症予防運動プログラム・コグニサイズの実践（2015年4月～継続中）

Reviewer for Sleep Medicine Reviews (Impact factor in 2017/2018, 8.958), 2編

Reviewer for Chronobiology International (Impact factor in 2017/2018, 2.643), 6編

Reviewer for International Psychogeriatrics (Impact factor in 2017/2018, 2.261), 5編

その他査読歴5編，<参考> Publons, <https://publons.com/researcher/1232096/you-kume/>

【論文】

- 1) Yu Kume et al. (2017) Pilot study: The application of a multicomponent exercise for older people in a depopulated rural area. *Geriatrics & Gerontology International* 17(12); 2639-2640.
- 2) Yu Kume, et al. (2017) Seasonal effects on the sleep-wake cycle, the rest-activity rhythm and quality of life for Japanese and Thai older people. *Chronobiology International* 34 (10); 1377-1387.